

流涙症とは

目の周りが常に濡れている状態になり、目頭のあたりが赤茶色になる『涙やけ』や目の周囲の皮膚炎を起こします。様々な原因から涙液の産出と排出のアンバランスが生じることで発症します。

《原因》

➤ 涙液の産出が多い原因

- 目に刺激がある→逆さまつ毛や眼瞼内反、異物、目の周りの毛など
- アレルギー性結膜炎
- 目の痛みがある→角膜潰瘍、緑内障、ブドウ膜炎など

➤ 涙液の排出がうまくいかない原因

→本来涙液は上下の瞼にある『涙点』という小さな穴から『鼻涙管』を通して鼻に抜けていきます。

- 鼻涙管が生まれつき狭い
- 鼻涙管が異物や分泌物で閉塞している
- 目の周囲の腫瘍による外からの閉塞
- 過去の炎症によって組織が固くなり、狭くなる

等の原因が考えられます。

《治療》

◆ 涙液の産出が多い場合

原因を取り除く、または緩和することが治療となります。

逆さまつ毛の場合は定期的に抜いてあげる必要があります。

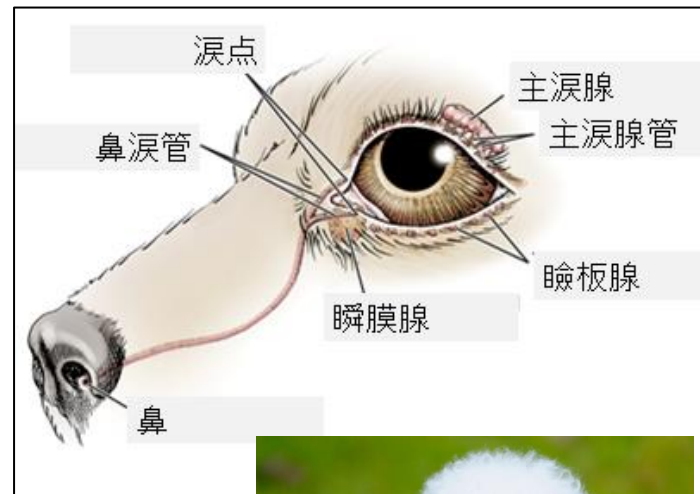
また、長毛のわんちゃんであればトリミングの際に目の周りの毛を短くカットしてもらいましょう。

◆ 鼻涙管に問題がある場合

鼻涙管洗浄を行うことで改善する場合があります。涙点から細い管を入れて生理食塩水で洗浄する処置で、動物の安全のために全身麻酔で行います。一度洗浄をしても、再度閉塞することもしばしばあります。

◆ 軽度であまり症状が無い場合

積極的な治療は行わずに目の周りを清潔に保つことで皮膚炎を予防する場合があります。



涙やけは外貌上目立ってしまうことから様々なケアを試される方が多いです。

ホウ酸水や市販のお手入れ用品を使ったケア方法、サプリメント、食餌を無添加フードに変更するよううたっているサイトなど、インターネット上にはさまざまな情報があふれています。

どれも間違った情報ではないものの、効果には個体差がありますし、「○○をすれば涙やけが完全に消えます！」という魔法のような方法は残念ながらありません。

流涙症の原因によっても対処法が異なりますので、全てを鵜呑みにせず、ご相談ください。